

山形県感染症発生動向調査

令和2年第38週(9月14日~9月20日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所) TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486 URL http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/ 2020年9月24日 発行



<定点把握感染症>

<定点把握感染症 	>													0	:警報レ	ベル	0	:注意報	レベ	
 疾 患 名	全 国	山	形		山形	市保健	所	村山	保健	所	最上	保健	所	置賜	保健	所	庄 内	保 健	所	累積 (県)
,, , <u>,</u> , ,,	第37週	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第1~38週
インフルエンザ定点(定点	医療機関数)		(44)	<u> </u>		(9)	_		(10)			(4)			(9)			(12)		
インフルエンザ	0.00			-																4164
小児科定点 (定点图	医療機関数)		(29)			(5)			(7)			(3)			(6)		'	(8)		
RSウイルス感染症	173 0.05						~													131
咽頭結膜熱	542 0.17	7 0.24	8 0.28	Δ			-	0.14	1 0.14					5 0.83	4 0.67	∇	0.13	3 0.38	Δ	486
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	1775 0.56	25 0.86	30 1.03	Δ	7 1.40	6 1.20	•	3 0.43	9 1.29	Δ	1 0.33		∇	9 1.50	14 2.33	Δ	5 0.63	1 0.13	\neg	3141
感染性胃腸炎	5935 1.88		65 2.24	A	16 3.20	16 3.20	-	2.00	10 1.43	∇	5 1.67	8 2.67	A	18 3.00	20 3.33	•	4 0.50	11 1.38	Δ	2773
水痘	336	6 0.21	2 0.07	∇			-	3 0.43		∇	0.33	0.33		2 0.33	1 0.17	V			_	309
手足口病	437 0.14	0.14	5 0.17	A		1 0.20	Δ		1 0.14	Δ	2 0.67	0.33	∇	0.17		∇	0.13	2 0.25	A	65
伝染性紅斑	0.01															-			_	231
突発性発しん	1601 0.51			Δ	5 1.00	5 1.00		2 0.29	3 0.43	Δ	1.33	0.33	∇	0.83	8 1.33	Δ	3 0.38	8 1.00	Δ	599
ヘルパンギーナ	0.35		51 1.76	A				4 0.57	3 0.43	∇					48	•	0.13		∇	102
流行性耳下腺炎	0.06			-		-	-									-				26
眼科定点 (定点图	医療機関数)		(8)	I		(1)	ı		(3)			(1)			(1)	I		(2)		
急性出血性結膜炎	0.00			•	***************************************												***************************************			0
流行性角結膜炎	152 0.22		0.13	Δ		1 1.00	Δ												unun.	53
	(医療機関数)		(10)	ı		(2)	ı		(2)			(1)			(2)	I		(3)		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2 0.00			-												-				1
クラミジア肺炎				-			-									-			_	1
マイコプラズマ肺炎	0.06	0.10	0.10		0.50	1 0.50														30
細菌性髄膜炎	3 0.01																		_	4
無菌性髄膜炎	0.02															_				0

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<全数把握感染症>

※報告なし

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム の運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象 外となりました。

山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。 (QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



※警報・注意報の基準値

疾患名	警報し	ノベル	注意報		
疾 患 名 	開始	終息	レベル		
インフルエンザ	30	10	10		
咽頭結膜熱	3	1	_		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	_		
感染性胃腸炎	20	12	_		
水痘	2	1	1		
手足口病	5	2	_		
伝染性紅斑	2	1	_		
ヘルパンギーナ	6	2	_		
流行性耳下腺炎	6	2	3		
急性出血性結膜炎	1	0.1	_		
流行性角結膜炎	8	4	_		

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPを ご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

		Т													
インフルエンザ定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	合計
インフルエンザ	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~									0
小 児 科 定 点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳~	合計
RSウイルス感染症															0
咽頭結膜熱			5		2	1									8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	2	3	3	2	5	2	4	2	4	1		30
感染性胃腸炎		5	13	7	8	7	3	2	3	3	2	9	3		65
水痘			1						1						2
手足口病			2	1	1	1									5
伝染性紅斑															0
突発性発しん		6	14	4		1									25
ヘルパンギーナ		3	20	15	6	3	2		1			1			51
流行性耳下腺炎															0

< 令和 2年 8月 月報 >

2020年9月24日 発行

疾患名			彡 県	山 形 市保 健 所		村 山保健所		最 上 保 健 所		置賜保健所		庄 内保健所		累積 (県)	
	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	1~8月		
STD 定点 (定点医療機関数)		(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	13	17	9	4	2			1	1	5	1	7	122	
江台ノフマンア念木征	定点当り	1.30	1.70	3.00	1.33	2.00			1.00	0.50	2.50	0.33	2.33	122	
性器ヘルペスウイルス	報告数	5	3				1			4	1	1	1	40	
感染症	定点当り	0.50	0.30				1.00			2.00	0.50	0.33	0.33	49	
ルキコングローフ	報告数	1										1		11	
尖圭コンジローマ 	定点当り	0.10										0.33			
淋菌感染症	報告数	2	3							1	1	1	2	21	
/	定点当り	0.20	0.30							0.50	0.50	0.33	0.67	21	
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌	報告数	3		3										36	
感染症	定点当り	0.30		1.50										30	
メチシリン耐性	報告数	17	17		2	5	2	1		2	1	9	12	150	
黄色ブドウ球菌感染症	定点当り	1.70	1.70		1.00	2.50	1.00	1.00		1.00	0.50	3.00	4.00	150	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	1								1				2	
	定点当り	0.10								0.50					

<トピックス>

ヘルパンギーナ 情報

ヘルパンギーナの定点当たり報告数が、置賜地区で警報レベル となっています。

・第38週 定点当たり報告数(山形県:1.76人) 山形市保健所:0人、村山保健所:0.43人、最上保健所:0人 置賜保健所:8.00人、庄内保健所:0人

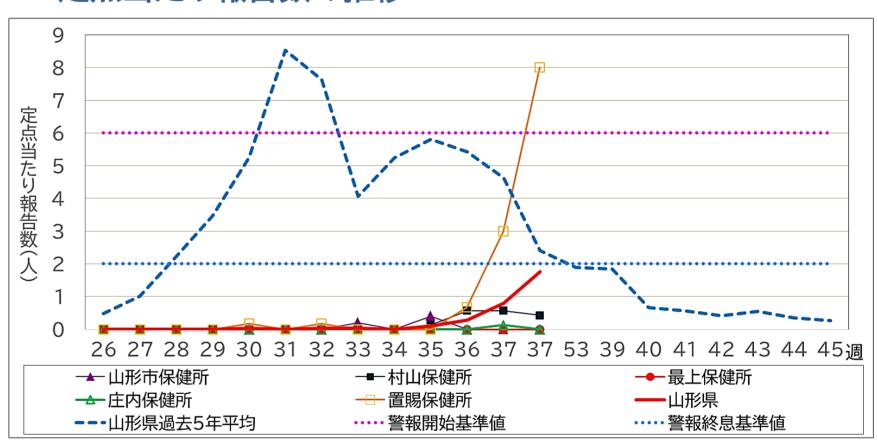
※警報開始基準値:6 警報終息基準値:2

<ヘルパンギーナとは>

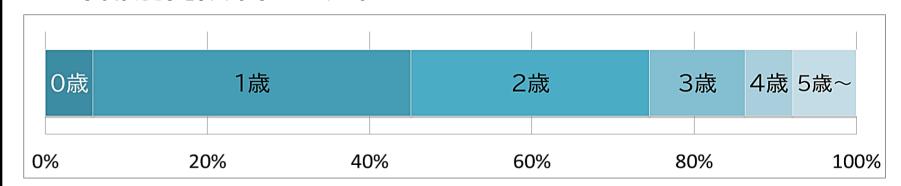
エンテロウイルス(コクサッキーウイルスA群など)による感染症で、幼児を中心に夏に流行します。

突然の高熱で発症し、続いてのどの痛み、のどの奥に水疱が現れます。のどの奥の水疱は、やがて破れて痛みを伴います。

<定点当たり報告数の推移>



<年齡別内訳(第38週)>



予防のために、手洗い・うがいを徹底しましょう。 ヘルパンギーナは回復後も便中に2~4週間にわ たり、ウイルスが排泄されます。おむつ交換やトイレ の後は、特に入念に手を洗いましょう。

